

令和5年度

**吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン検討会説明資料
～振り返り～**

検討会の目的

- 本検討会では、令和5年度の出水期を振り返るとともに、出水対応の円滑化に向けて状況付与に基づく連携課題の抽出を行う。

● 出水期に向けた意思統一

出水期に向けて、タイムラインの概要や運用方法、留意点を確認する。



Plan

タイムライン
作成・確認

● タイムラインの運用

タイムラインの発動やレベル移行の情報に元々タイムラインを運用する。



Do

タイムライン
運用

今回

● 改善

振り返りで出た課題の改善策を議論する。



Action

タイムライン
の改善検討

● 振り返り・ 教訓の抽出

タイムラインの記録等を持ち寄り、出水対応の教訓や改善点を洗い出す。



Check

出水対応の
振り返り

検討会のスケジュール

時間	検討内容
10 : 00～10 : 05	1. 開会挨拶
10 : 05～10 : 15	2. 令和5年度の出水概要 ① タイムラインの運用状況 ② 台風第7号の出水概要 ③ 岡山県北部における台風第7号の被害状況 ④ 令和5年度に発生した全国の水害
10 : 15～10 : 25	3. 振返りアンケート結果の報告
10 : 25～11 : 50	4. 状況付与に基づく連携課題の抽出 ① 全体説明（10分） ② グループ別の連携課題の抽出（45分） ③ 全体意見交換（20分）
11 : 50～11 : 55	5. 講評
11 : 55～12 : 00	6. 閉会挨拶

2. 令和5年度の出水概要

①令和5年度における タイムラインの運用状況

- 吉井川・旭川・高梁川水害タイムラインは、令和5年度に計4回発動した。
- また、台風第7号の接近により、鏡野町や津山市など**県北部を中心に浸水や河川護岸の被害**が発生した。

令和5年度におけるタイムラインの運用状況

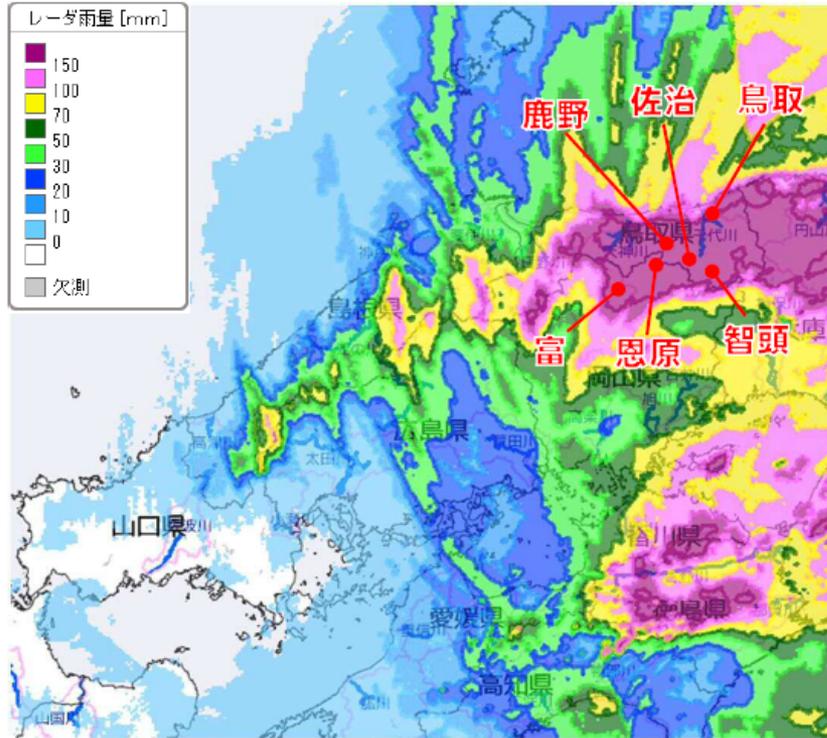
	発動期間	要因	レベル
1	5.31～6.2	前線による大雨（早期注意情報）	0-2
2	6.30～7.2	前線による大雨（早期注意情報）	1
3	7.7～7.10	前線による大雨（早期注意情報）	0-2
4	8.14～8.16	台風第7号の接近	0-2

②台風第7号の出水概要

気象概要

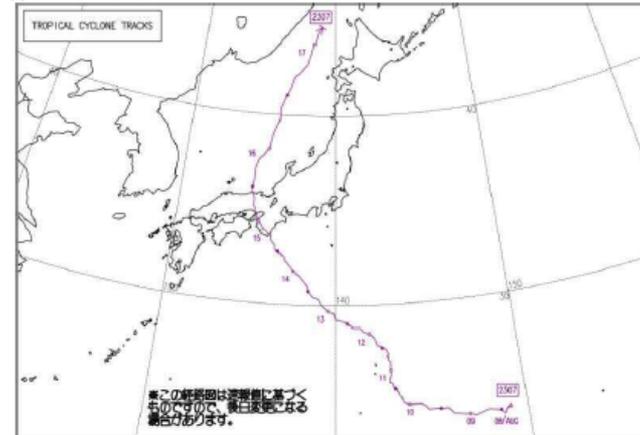
- 令和5年8月15日5時前に和歌山県潮岬付近へ上陸し、比較的ゆっくりとした速度で近畿地方を縦断した台風第7号の影響で、中国、近畿、東海地方等の広い範囲で雨や風の影響が長時間続きました。
- 鳥取県と岡山県では15日7時50分に線状降水帯が発生し、その後、15日16時40分には鳥取県に大雨特別警報が発令されました。
- この豪雨により、鳥取市佐治では15日の日降水量が515ミリと観測史上1位の値を更新し、8月の平年値の約3倍の雨が1日で降りました。
- また、鳥取市鳥取、鹿野や八頭郡智頭町智頭、岡山県の苫田郡鏡野町恩原、富でも日降水量が観測史上1位の値を更新する等、記録的な大雨となりました。

■等雨量線図 【国土交通省作成】



※8月15日0時から24時までの総雨量

■台風経路 【気象庁ウェブサイトより】



■天気図 【気象庁ウェブサイトより】



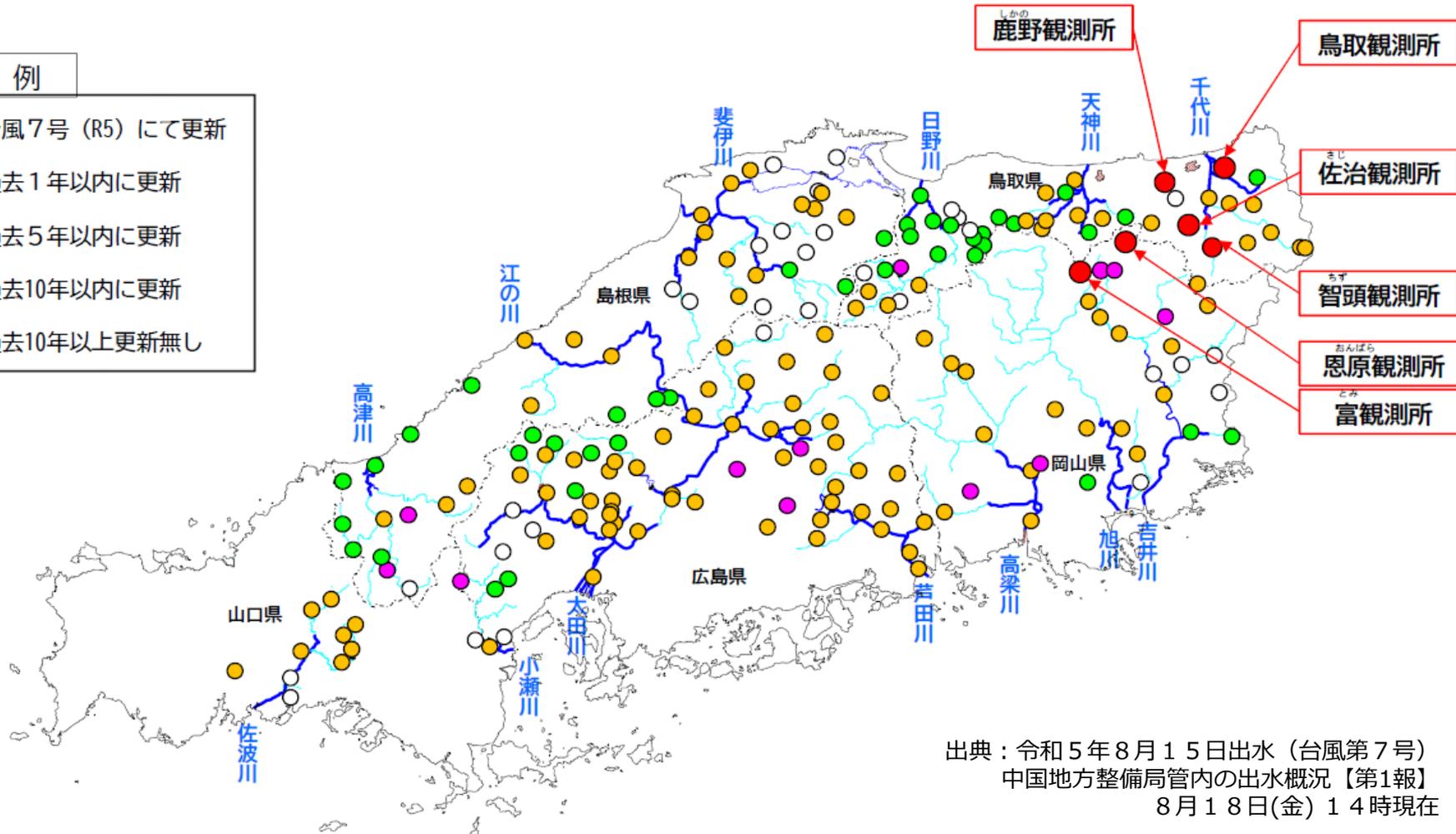
②台風第7号の出水概要

雨量観測の状況

■鳥取県鳥取市（3地点）および鳥取県八頭郡智頭町（1地点）、岡山県苫田郡鏡野町（2地点）の雨量観測所で、日降水量が観測史上最大を記録しました。

凡 例

- 台風7号（R5）にて更新
- 過去1年以内に更新
- 過去5年以内に更新
- 過去10年以内に更新
- 過去10年以上更新無し



出典：令和5年8月15日出水（台風第7号）
中国地方整備局管内の出水概況【第1報】
8月18日(金) 14時現在

(注) 水文水質データベース・24時間降水量一覧表（気象庁）を元に作成

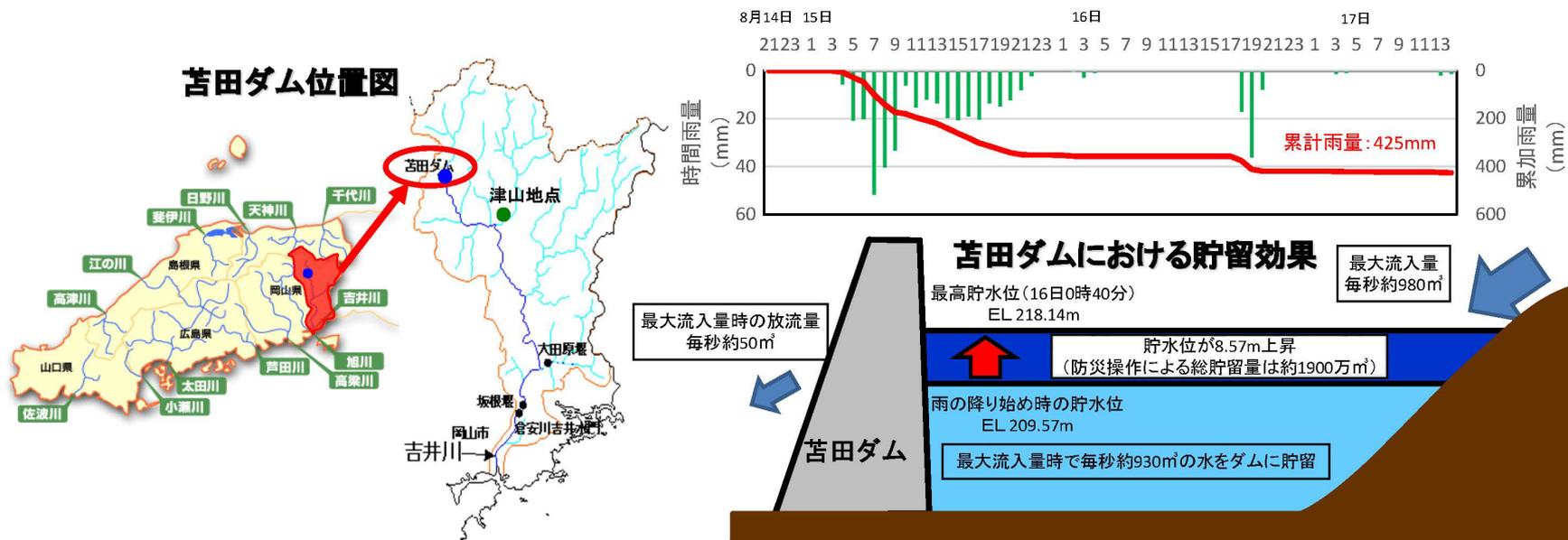
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

②台風第7号の出水概要

速報

苫田ダムの防災操作による治水効果 (令和5年8月14日～8月17日) ～吉井川津山地点の水位を約3.6m低下～

- 令和5年8月14日から17日にかけて、台風7号の影響により15日7時50分に岡山県と鳥取県で線状降水帯が発生するなど、苫田ダム上流域において、**14日21時から17日14時の累加雨量（流域平均）が425mm**となり、ダムへの最大流入量は管理開始以降最大となる**毎秒約980m³**を記録。
- 今回の防災操作において、**約1,900万m³の水を貯留し**、下流の河川へ流す水量を最大流入時で**毎秒約930m³低減**。
- ダム下流の津山地点（岡山県津山市昭和町）において、**約3.6m**の水位を低減させる効果があったものと推定。



苫田ダム貯水位の状況



苫田ダム放流時の状況



津山市昭和町今井橋付近における水位低減効果



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。

②台風第7号の出水概要

速報

苫田ダムの防災操作による治水効果 (令和5年8月14日～8月17日)

- 令和5年8月14日から17日にかけて、台風7号の影響により15日7時50分に岡山県と鳥取県で線状降水帯が発生するなど、苫田ダム上流域において、**14日21時から17日14時の累加雨量（流域平均）が425mm**となり、ダムへの最大流入量は管理開始以降最大となる**毎秒約980m³**を記録。
- 今回、苫田ダムでは、上流から洪水と共に流れてきた**約3,000m³**の流木等をダム貯水池内で捕捉し、ダム下流の流木被害の軽減に貢献した。

※数値は速報値であり、今後変わることがあります。



苫田ダム位置図



8月16日 おりづる号撮影

③岡山県北部における台風第7号の被害状況

- 台風7号により、観測史上最大の降水量を記録した鏡野町の4棟をはじめ、新見、津山市各1棟の計6棟の床下浸水の被害が発生した。
- また、津山市加茂町倉見の市道が陥没、鏡野町上斎原の町道で橋の一部が流失、高梁市有漢町の農道ののり面崩れなどが発生した。



出典：鏡野町



出典：津山市

④ 令和5年度に発生した全国の水害

令和5年7月15日からの梅雨前線による被害 (秋田県秋田市)

- 前線の影響により、秋田県を中心に記録的な大雨となり、**24時間雨量は多いところで300mmを超過**し、多くの雨量観測所で観測史上1位を記録
- 秋田市内でも内水氾濫が発生



ヘリ画像：7月17日10時23分撮影(みちのく号)
出典：令和5年7月15日からの梅雨前線による大雨に係る出水の概要(東北地方整備局河川部速報版)



秋田駅周辺の被害

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による被害 (愛知県豊川市、和歌山県湯浅町)

- 梅雨前線と台風周辺の影響により西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、**高知県、和歌山県、奈良県、三重県、愛知県、静岡県で線状降水帯が発生**
- 愛知県豊川市や和歌山県湯浅町で浸水被害が発生



出典：豊川市

愛知県豊川市の被害



出典：湯浅町

和歌山県湯浅町の被害

3. 振返りアンケート結果の報告

アンケートの概要

- 令和5年度出水期を振り返り、タイムラインやポータルサイトの活用状況や課題を抽出するために、アンケートを実施。
- タイムラインの3つの機能毎に分けて、アンケートを実施。

①意思決定、危機意識共有

I. 継続性のあるタイムラインの取組みに向けて

- I-1 : タイムラインに対する理解促進や異動時の引継ぎに効果的だった取組の確認
- I-2 : I-1で示した取組の他に、効果的と考える取組の確認

II. メールの発動について

- II-1 : メーリングリストに発出されたメール確認状況の把握
- II-2 : メーリングリストに発出されたメール活用状況の把握
- II-3 : タイムラインの発動条件の改善の必要性の確認

III. 自由意見

③防災情報・防災行動の共有

I. 今年度におけるポータルサイトの活用状況について

- I-1 : マルチ画面の活用状況の確認
- I-2 : リンク集の活用状況の確認
- I-3 : 防災行動共有システム各種機能の活用状況の確認
- I-4 : 防災行動共有システム（図形式）の利用状況の確認

II. 自由意見

②時系列・警戒レベルに沿った防災行動

I. タイムライン行動項目のブラッシュアップに向けて

- I-1 : 行動項目の妥当性検証状況の確認
- I-2 : 行動項目の妥当性を検証する方法の確認

II. 今年度における出水対応について

- II-1 : 出水対応の実施状況や課題、改善事項の確認
- II-2 : 出水対応における課題や改善が必要な事項の確認
- II-3 : 台風第7号におけるタイムラインの活用状況の確認
- II-4 : 台風第7号の際に、防災行動をとる上で必要となった情報の確認

III. 機関ごとのタイムライン作成状況について

- III-1 : 自治体版タイムラインの作成状況の確認
- III-2 : 自治体以外の機関における、各機関版タイムラインの作成状況の確認

IV. 自由意見

期間：11/14～30

回答数：36機関

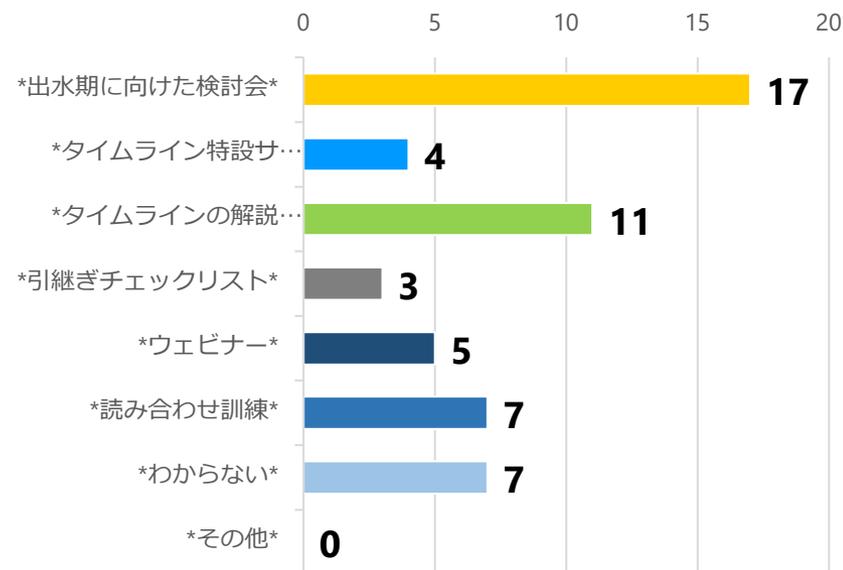
ご協力頂きありがとうございました。

振り返りアンケート結果 ①意思決定、危機意識共有

■ タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組は？

- ✓ タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組として、「出水期に向けた検討会」と「タイムラインの解説動画」が多く挙げられた。

選択肢	回答数
出水期に向けた検討会	17
タイムライン特設サイト	4
タイムラインの解説動画	11
引継ぎチェックリスト	3
ウェビナー	5
読み合わせ訓練	7
わからない	7
その他	0

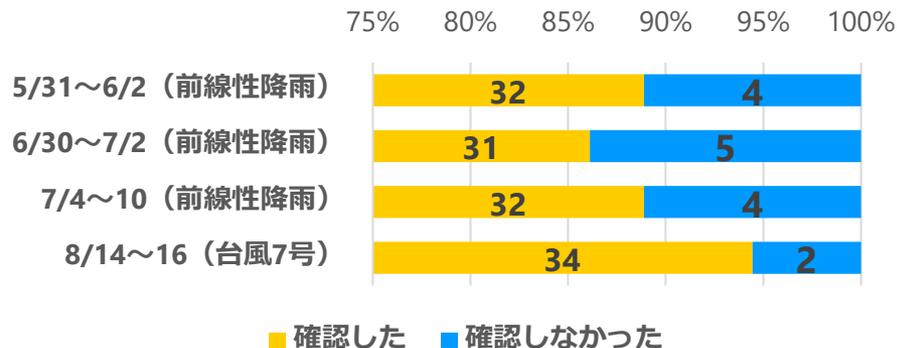


振返りアンケート結果 ①意思決定、危機意識共有

■ タイムライン発動時にメールを確認しましたか？

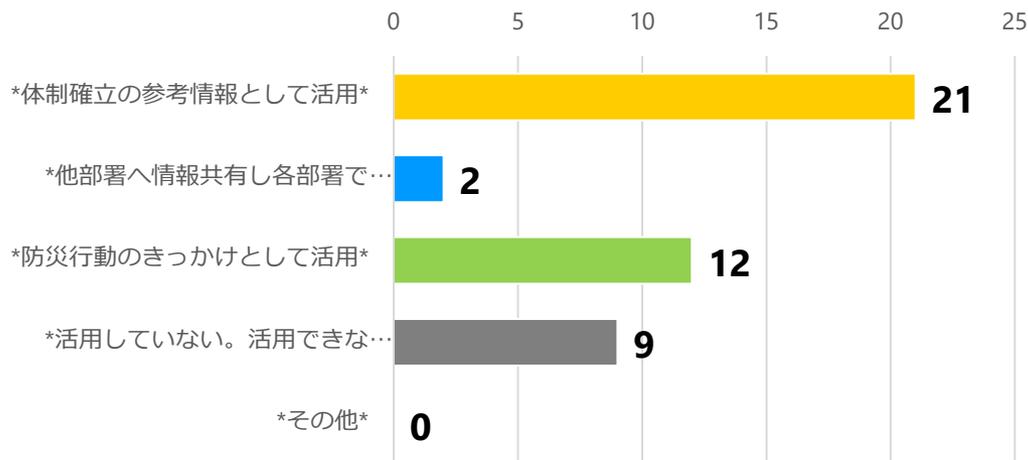
✓ どの出水においても8割以上の機関がタイムライン発動時のメールを確認していた。

選択肢	確認した	確認しなかった
5/31～6/2（前線性降雨）	32	4
6/30～7/2（前線性降雨）	31	5
7/4～10（前線性降雨）	32	4
8/14～16（台風7号）	34	2



■ タイムラインの発動・レベル移行時に発出されたメールの情報をどのように活用しましたか？

✓ 多くの機関が体制確立の参考情報として、メールを活用した。

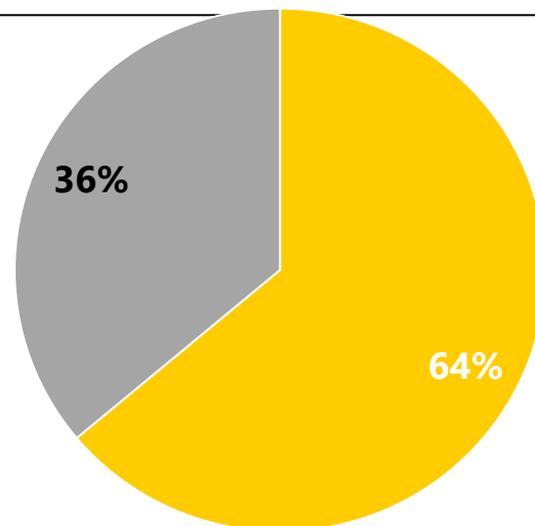


振返りアンケート結果 ①意思決定、危機意識共有

■ 令和5年度に改善したタイムライン発動条件について、さらに改善が必要と感じますか？

✓ 6割の機関が、「特に改善する必要はない」との回答であり、「改善が必要と感じる」との回答は無かった。

選択肢	回答数
特に改善する必要はない。	23
改善が必要と感じる。	0
わからない	13



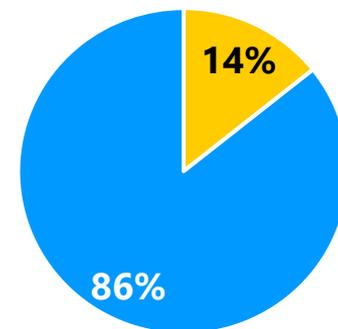
参考：タイムライン発動基準の改善内容

タイムライン レベル	気象予警報、河川情報、水位超過、現象等の目安	
	洪水・内水	土砂災害
レベル0-1 (3日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・台風：3日後に台風が高梁川流域に影響するおそれ ・前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：3日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表 	
レベル0-2 (2日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・台風：2日後に台風が高梁川流域に影響するおそれ ・前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：2日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表 	
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> ・早期注意情報（翌日までの警報級の可能性）【目安：1日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表 	

■ これまでの実出水対応を通じて、タイムライン行動項目の妥当性検証や修正を行いましたか？

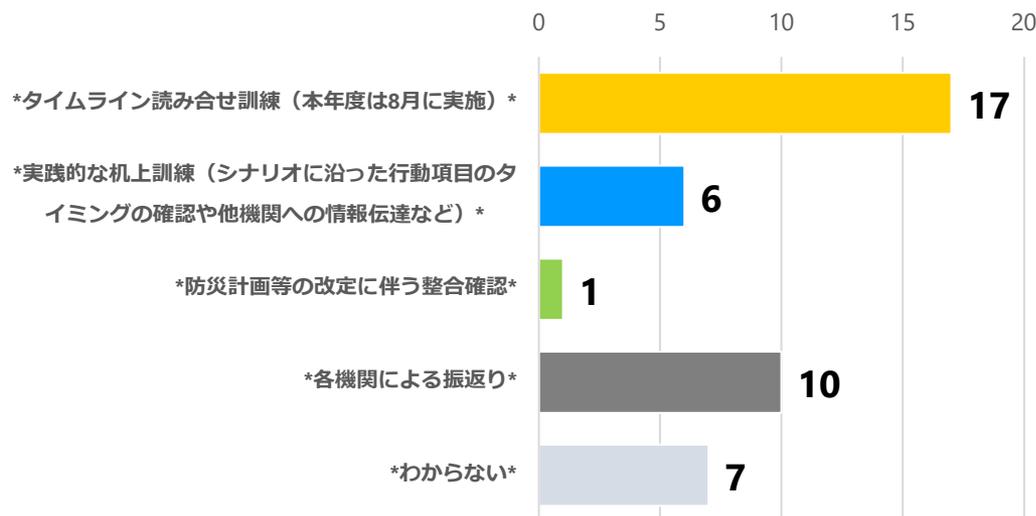
✓ ほとんどの機関が、実出水対応を通じて、タイムライン行動項目の妥当性検証や修正を行っていない。

選択肢	回答数
行った	5
行っていない	30



■ 出水対応がなかった場合、タイムライン行動項目の妥当性をどのように検証すればよいと考えますか？

✓ 出水対応がなかった場合の、タイムライン行動項目の妥当性の検証方法として、「読み合せ訓練」の実施や、「各機関による振返り」が多く挙げられた。

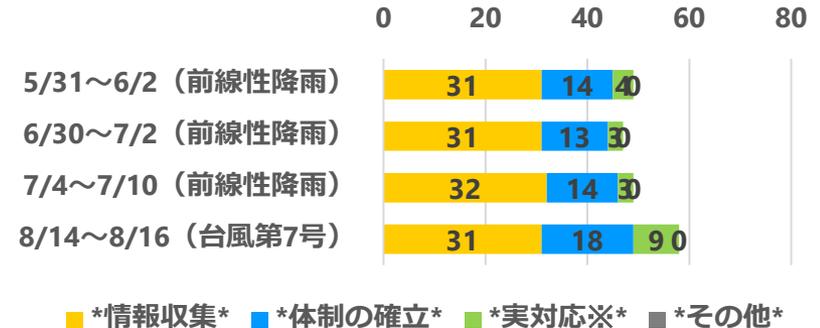


振返りアンケート結果 ②時系列・警戒レベルに沿った防災行動

■ 今年度の台風や大雨において、各機関の防災計画又はマニュアルに基づき、どのような出水対応を行いましたか？

- ✓ 台風や大雨における出水対応は、ほとんどの機関で**情報収集**、**体制の確立**までに留まった。
- ✓ **台風第7号**への対応に関しては、**実対応**に至った機関が多かった。

選択肢	情報収集	体制の確立	実対応	その他
5/31～6/2（前線性降雨）	31	14	4	0
6/30～7/2（前線性降雨）	31	13	3	0
7/4～10（前線性降雨）	32	14	3	0
8/14～16（台風7号）	31	18	9	0



具体的な対応内容（一例）

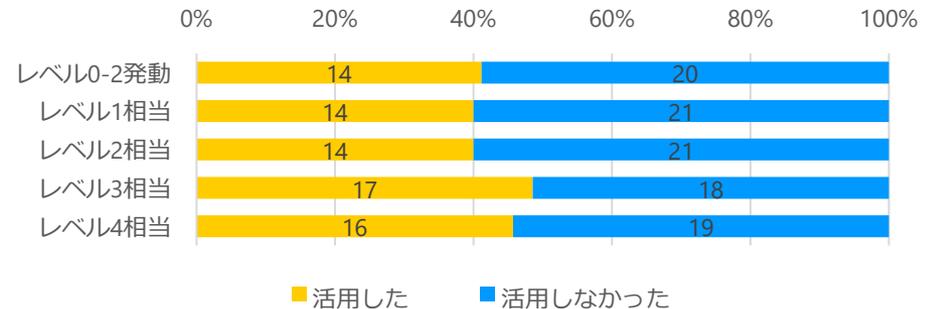
- ✓ 夜勤体制、府県気象情報の発表、防災シナリオを各機関にメールで送付、ホットラインの実施
- ✓ 注意報や警報発令時の体制整備
- ✓ 警戒体制の確立
- ✓ 河川水位及び雨量の観測、気象台等関係機関からの情報収集、警戒体制の確立等
- ✓ 気象情報の収集、システム上での確認等
- ✓ 110番対応等
- ✓ 社内情報共有、部内シフト体制案作成、気象情報発信
- ✓ 気象情報の収集、交通機関の情報の収集、河川情報の収集
- ✓ ダム及び県河川課との情報伝達および注意体制、警戒体制での配備
- ✓ 通常放送を変更して、災害・防災関連の情報放送に切り替えた。

振返りアンケート結果 ②時系列・警戒レベルに沿った防災行動

■ 台風第7号において、防災行動項目の確認や他機関との連携対応の確認等を行う際に、タイムラインを活用しましたか？

- ✓ 台風第7号において、防災行動項目の確認や他機関との連携対応の確認等を行う際に、タイムラインを活用した機関は、約4割にとどまった。
- ✓ 多機関で連携する対応にまで至らなかったことが要因と考えられる。

タイムラインレベル	活用した	活用しなかった
レベル0-2発動	14	20
レベル1	14	21
レベル2相当	14	21
レベル3相当	17	18
レベル4相当	16	19



活用しなかった理由

- ✓ 主に岡山県総合防災情報システムを活用したため
- ✓ 自組織のマニュアルにおいて把握、対応したため。
- ✓ 防災行動項目等を把握していたため。
- ✓ 他業務を優先したため
- ✓ 予測進路に大幅なずれがあったため。
- ✓ タイムラインが必要となるような状況にいたらなかったため。
- ✓ 他機関との連携の必要がなかったことから、各区・各部署とテレビ会議等での情報共有のみの対応としたため。
- ✓ 県のシステム入力、住民、関係機関への対応のため、人的・時間的制約からタイムラインを活用できなかったため
- ✓ 弊社では、全社統一的な災害復旧システム等を利用しているため
- ✓ 「広戸風」について、気象台のサイトを活用した。

台風7号で必要となった情報

- ✓ タイムラインのレベル発動時のメール：確認することとで初動対応（注意報や警報発令時の体制整備等）のきっかけとなった。
- ✓ 関係機関HP集・気象水象情報マルチ画面は、非常に良く活用させていただいた。
- ✓ 気象台からの気象情報発表メール、台風説明会
- ✓ 当該地域における大雨情報
- ✓ 気象情報、観測情報、河川水位情報
- ✓ 交通機関の情報の収集
- ✓ ダムの水位、放流量等の情報
- ✓ 警報の発表見込み
- ✓ 気象庁の「早期注意情報」を目安にしている

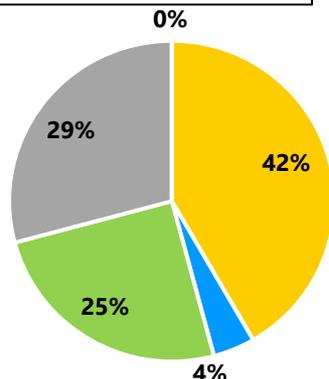
振返りアンケート結果

②時系列・警戒レベルに沿った防災行動

■ 自治体版タイムラインの作成状況を教えてください。

✓ 4割程度の自治体で自治体版タイムラインを作成済または着手中だが、作成の予定はないと回答した自治体が3割程度であった。

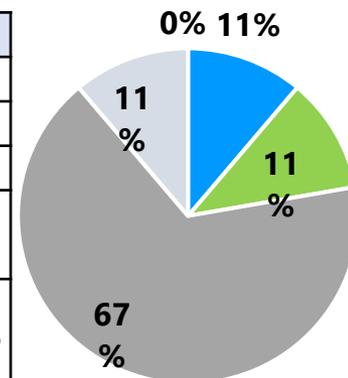
選択肢	回答数
作成済	10
着手中	1
作成を検討中	6
作成の予定はない	7
支援があれば作成する	0



■ 各機関版タイムラインの作成状況を教えてください。

✓ 約7割程度の機関では各機関版タイムラインの作成の予定はないとの回答だった。

選択肢	回答数
作成済	0
着手中	1
作成を検討中	1
作成の予定はない	6
支援があれば作成する	1 (エフエムゆめウェーブ)

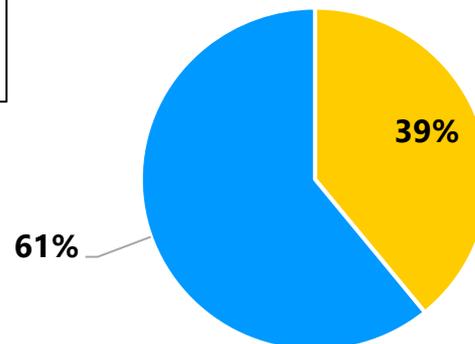


昨年度アンケート回答も含めた自治体版タイムラインの作成状況は次頁

■ 自治体版タイムラインの作成の勉強会の開催を希望するか。

✓ 約4割程度の機関が自治体版タイムラインの勉強会の開催を希望するとの回答となった。

選択肢	回答数
希望する	9
希望しない	14



令和5年度 自治体版タイムラインの作成状況

済：作成済、○着手中、△検討中、□：支援があれば作成、×：作成の予定はない

自治体	作成状況	備考
岡山県	済	R4・R5アンケート (危機管理課)
岡山市	済	R4・R5アンケート (現在の旭川水害タイムライン)
倉敷市	△	R4・R5アンケート (総務局危機管理課)
津山市	○	R4・R5アンケート (防災担当)
玉野市	済	R4アンケート (危機管理課) オブザーバー
笠岡市	○	R4アンケート (危機管理課)
井原市	済	R4アンケート (危機管理課)
総社市	未回答	
高梁市	済	R4アンケート (防災復興推進課)
新見市	済	R4アンケート (総務課危機管理室)
備前市	済	R4アンケート (危機管理課)
瀬戸内市	△	R5アンケート (防災担当)
赤磐市	済	R4・R5アンケート (くらし安全課)

自治体	作成状況	備考
真庭市	△	R4アンケート (危機管理課)
美作市	未回答	
浅口市	済	R4アンケート (くらし安全課)
和気町	未回答	
早島町	△	R4・R5アンケート (建設農林課)
里庄町	□	R4アンケート (防災担当) オブザーバー
矢掛町	済	R5事務局へ連絡
新庄村	×	R5アンケート (総務企画課)
鏡野町	済	R4アンケート (防災担当)
勝央町	△	R4・R5アンケート (防災担当)
奈義町	△	R4・R5アンケート (防災担当)
西粟倉村	未回答	
久米南町	済	R3に事務所支援のもと作成済
美咲町	済	R3に事務所支援のもと作成済
吉備中央町	未回答	

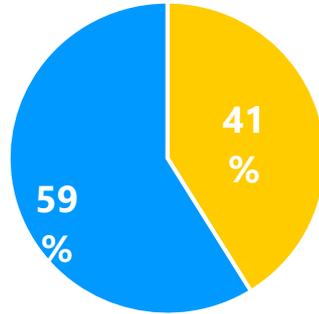
振返りアンケート結果

③防災情報、防災行動の共有

■ マルチ画面を利用しましたか？

✓ マルチ画面を利用した機関は、4割程度だった。

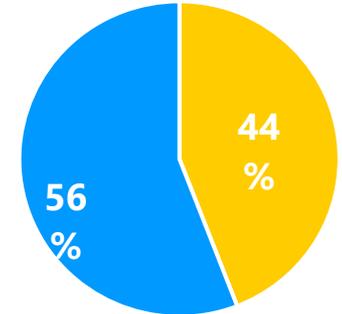
選択肢	回答数
利用した	14
利用しなかった	20



■ リンク集を利用しましたか？

✓ リンク集を利用した機関は、4割程度だった。

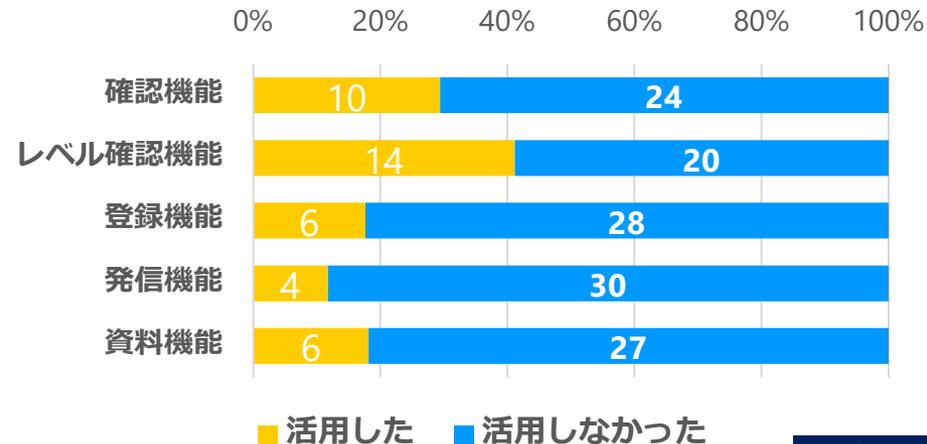
選択肢	回答数
利用した	15
利用しなかった	19



■ 防災行動共有システムは以下の5つの機能で試行運用をしています。これらの機能を利用しましたか？

✓ 防災行動共有システムは、確認機能が3割程度、レベル確認機能が4割程度利用していた。

機能	利用した	利用しなかった
確認機能	10	24
レベル確認機能	14	20
登録機能	6	28
発信機能	4	30
資料機能	6	27



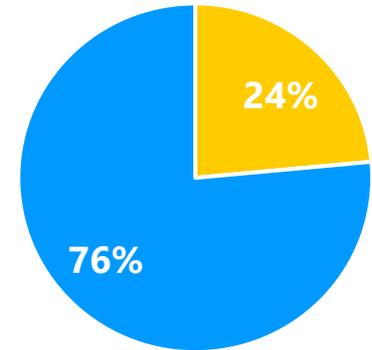
■ 防災行動共有システム（図形式）プロトタイプを利用しましたか？

✓ 防災行動共有システム（図形式）プロトタイプの利用は、約2割にとどまった。

選択肢	回答数
利用した	8
利用しなかった	26

自由意見

✓ 一人では中々対応が困難である。



振返りアンケート結果 まとめ

項目	アンケート結果	今後の課題
①意思決定、 危機意識	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組として、「出水期に向けた検討会」と「タイムラインの解説動画」が多く挙げられた。 ・ どの出水においても8割以上の機関がタイムライン発動時のメールを確認していた。 ・ 6割の機関が、「特に改善する必要はない」との回答であり、4割の機関が「わからない」との回答だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイムラインに対する理解度を向上させる取組を、継続的に実施が必要 ✓ タイムライン発動メールや発動条件は、次年度以降の運用を踏まえ継続的な検証が必要
②行動項目の 妥当性の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんどの機関が、実出水対応を通じて、行動項目の妥当性検証や修正を行っていなかった。 ・ 台風第7号において、防災行動項目の確認や他機関との連携対応の確認等を行う際に、タイムラインを活用した機関は、約4割にとどまった。 ・ 多機関で連携する対応にまで至らなかったことが要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大きな出水対応がなかったため、読み合わせによるタイムラインの確認や連携行動の確認が必要
③防災情報、 防災行動の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ マルチ画面・リンク集を利用した機関は、4割程度だった。 ・ 防災行動共有システムは、確認機能が3割程度、レベル確認機能が4割程度利用していた。 ・ 防災行動共有システム（図形式）プロトタイプの利用は、約2割にとどまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ポータルサイトの各種機能や活用方法の継続的な周知・訓練が必要

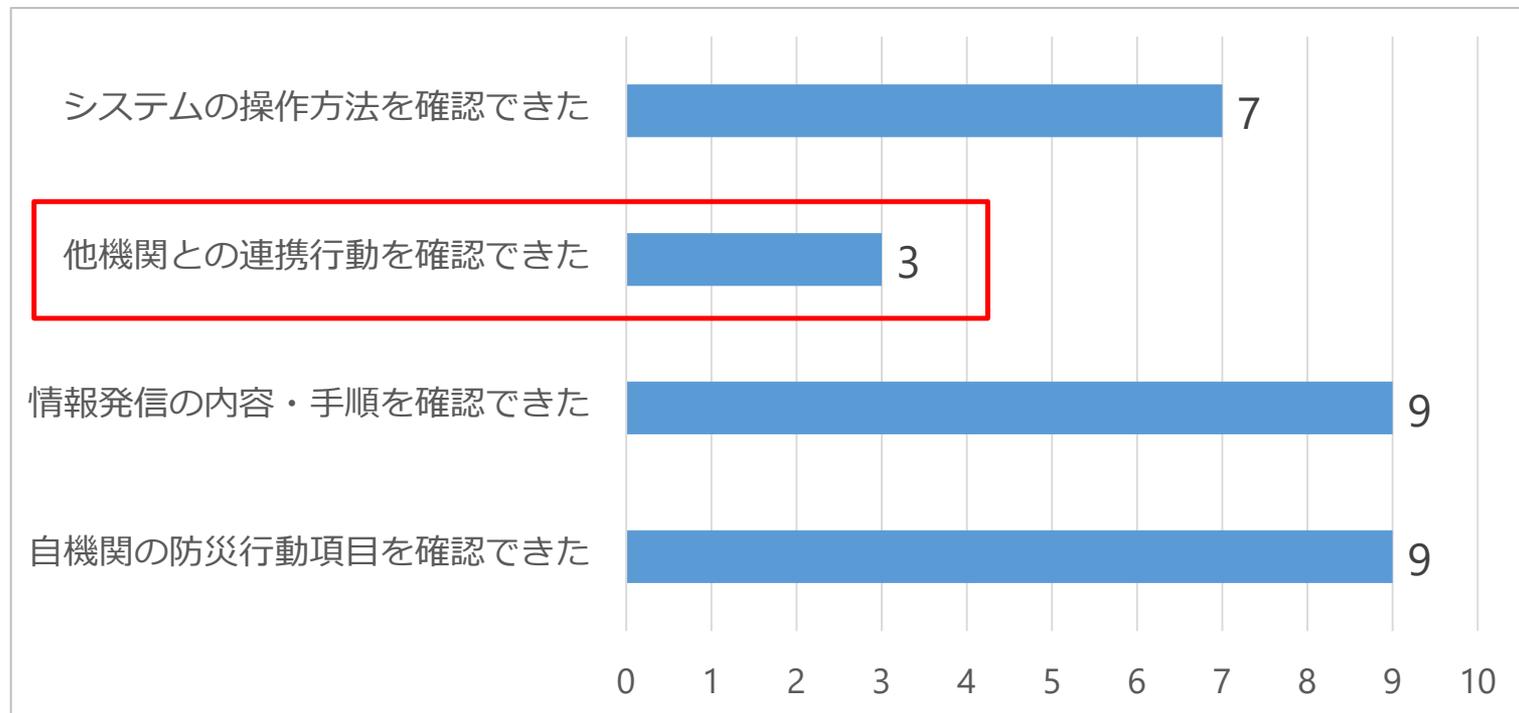
皆様から頂いたアンケート回答内容と、この後実施する「状況付与に基づく連携課題の抽出」を基にタイムラインの改善を図ります。

4. 状況付与に基づく連携課題の抽出

①全体説明

読み合わせ訓練におけるアンケート結果

- 読み合わせ訓練に対するアンケート結果では、読み合わせ訓練において「**他機関との連携内容の確認**」を実施できたと回答した機関が少なかった。
- これを踏まえ、タイムラインにおける**他機関との連携に必要な防災行動項目の記載漏れ**や、**他機関との情報共有に関する課題**を抽出することで、円滑な出水対応に向けた本質的な課題・改善点を明らかにする。



①全体説明

状況付与に基づく連携課題の抽出方法

- 多機関が関わる出水対応のテーマに別れ、連携課題を抽出する。
- 連携課題を抽出方法は、事務局で作成した各テーマの防災行動フロー（案）を基に、状況付与に基づき防災行動の流れを確認する中で、防災行動の漏れや連携内容・課題を抽出する。

状況付与

タイムラインレベル2
イメージする状況

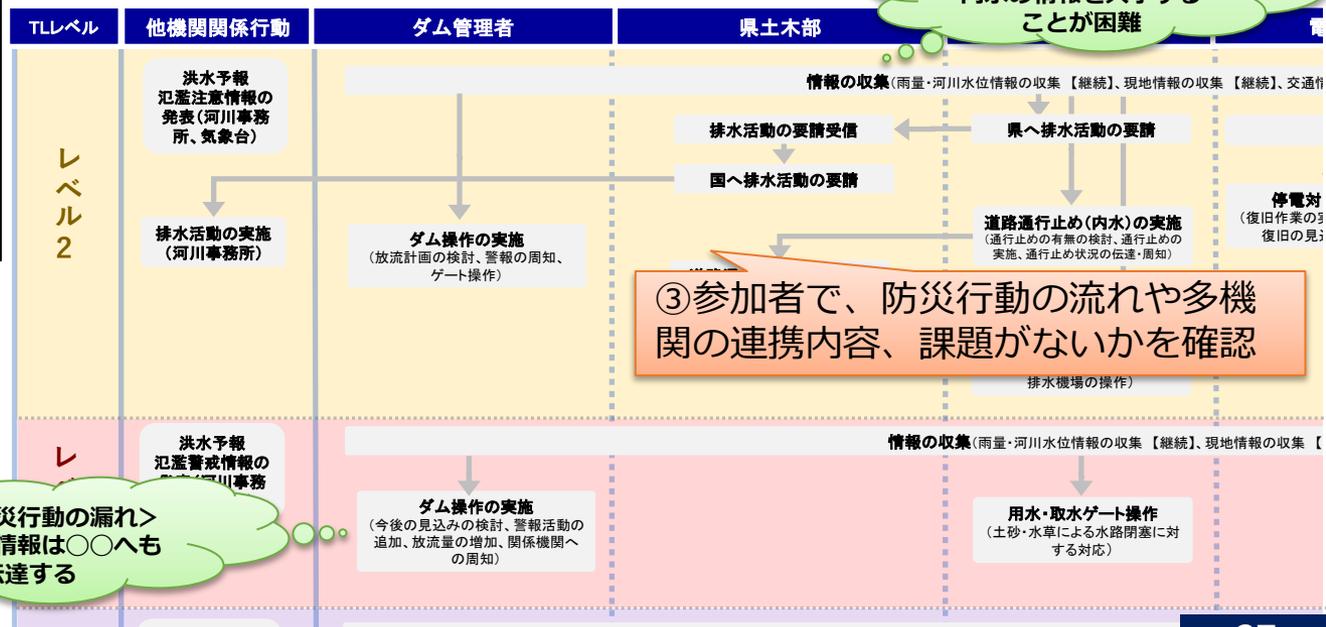


①状況付与（情報・状況）を
ファシリテーターが説明

②防災行動の流れを
ファシリテーターが説明

防災連携行動フロー

事前水防活動・減災活動（タイムラインレベル2、3、4）



<例：課題>
内水の情報を入手する
ことが困難

③参加者で、防災行動の流れや多機
関の連携内容、課題がないかを確認

<例：防災行動の漏れ>
ダム操作情報は〇〇へも
伝達する

(2) グループ別の連携課題の抽出

- テーマ・グループ分けは、下表の通りとし、このあとzoomのブレイクアウトルームで自動的に振り分ける
- グループ別の連携課題の抽出後に、**テーマ間の連携に関する課題**を中心に**全体での意見交換**を実施。

	テーマ	参加機関
A	住民避難	気象台、県・市町村危機管理部局・消防、警察、報道機関
B	事前水防活動、減災活動	気象台、河川管理者、ダム管理者、県・市町村施設管理・水防活動所管部局、ライフライン関係機関

45分間で「グループ別の連携課題の抽出」を実施

グループ分け

機関名	所属・役職	出席者	グループ
岡山市	危機管理室 主事	尾崎 千尋	A住民避難
	危機管理室 副主査	田中 大揮	A住民避難
	消防局企画総務課 消防士長	石原 大倫	A住民避難
	消防局警防課 消防士長	祇園 真志	A住民避難
真庭市	危機管理課 上級主事	花房 亮輔	A住民避難
新庄村	総務企画課 課長補佐	柴田 泰伸	A住民避難
美咲町	くらし安全課 副参事	難波 重信	A住民避難
井原市	総務部危機管理課 主任主事	北田 和之	A住民避難
	総務部危機管理課 主事	中原 亨	A住民避難
高梁市	防災復興推進課 課長補佐兼防災推進係長	川上正典	A住民避難
浅口市	産業建設部建設課 課長補佐	久本 昌寛	B事前水防活動、減災活動
	産業建設部建設課 課長補佐	榎田 晃弘	B事前水防活動、減災活動
矢掛町	総務防災課 課長代理	立川 人士	A住民避難
	総務防災課 主査	津尾 亜紀夫	A住民避難
津山市	総務部 危機管理室	天野 祐一	A住民避難
備前市	危機管理課 課長	竹林 幸作	A住民避難
	危機管理課 係長	隅谷 健司	A住民避難
瀬戸内市	危機管理課 主査	小竹 孝典	A住民避難
赤磐市	くらし安全課 主幹	岩本 充彦	A住民避難
勝央町	総務部 主査	佐々木 正宏	A住民避難
奈義町	総務課 主事	延安 諒	A住民避難
	総務課 防犯主幹	寒川 良裕	A住民避難

機関名	所属・役職	出席者	グループ
岡山県警察本部	主任	秋山 誉之	A住民避難
岡山地方気象台	防災・防災管理官	吉川 信一	A住民避難
	防災・水害対策気象官	細木 千春	B事前水防活動、減災活動
	防災・流域治水対策係	藤岡 翔太	B事前水防活動、減災活動
中国電力	岡山ネットワークセンター 総務課 担当副長	大恵	B事前水防活動、減災活動
	岡山支社 広報グループ 担当副長	宮地	B事前水防活動、減災活動
NTT西日本	岡山支店 設備部災害対策室 主査	古川 史郎	B事前水防活動、減災活動
岡山ガス	総務部 総務グループ 係長	實平 智	B事前水防活動、減災活動
	供給部 供給計画グループ 係長	北垣 順大	B事前水防活動、減災活動
	倉敷営業所業務グループグループ長	小崎 俊和	B事前水防活動、減災活動
エフエムゆめウェーブ(株)	情報部 FM課 課長	藤川 瑞美	A住民避難
玉野市(ワザバ)	危機管理課 主査	森国 大輝	A住民避難
広島県(ワザバ)	土木建築局 道路河川管理課 主査	原田 孝則	B事前水防活動、減災活動
岡山県	危機管理課 参事	稲山 正人	A住民避難
	土木部 防災砂防課 主任	木代 啓介	B事前水防活動、減災活動
	備前県民局地域づくり推進課 参事	川邊 秀則	A住民避難
岡山県 農林水産部(黒木ダム)	耕地課 主任	鈴木 潤	B事前水防活動、減災活動
中国電力(高梁川：新成羽川ダム)	東部水力センター高梁土木課 課長	平田 幹夫	B事前水防活動、減災活動
	東部水力センター高梁土木課 副長	磯野 栄次	B事前水防活動、減災活動
中国電力(旭川：社口ダム)	東部水力センター津山土木課 課長	杭本 弘	B事前水防活動、減災活動
	東部水力センター津山土木課 副長	新田 育才	B事前水防活動、減災活動
中国電力(吉井川：恩原ダム)	東部水力センター津山土木課 主任	田川 善大	B事前水防活動、減災活動
	施設課長	井本 和也	B事前水防活動、減災活動
中国四国農政局・高梁川用水土地改良区(小阪部川ダム)	施設課主任	橋本 健生	B事前水防活動、減災活動

(3) 全体意見交換

- テーマ間の連携に関する課題等について全体で意見交換を実施
- テーマ①から3分程度で発表

	テーマ	全体意見交換
A	住民避難	
B	事前水防活動、減災活動	

※上記表を埋めながら全体に画面共有し、意見交換を実施

連絡事項

タイムライン【詳細版】の意見照会

- 自機関の地域防災計画・防災計画等における防災行動項目とタイムライン【詳細版】における防災行動項目との不整合が生じていないか、意思決定のタイミング・条件、行動内容、役割の妥当性の確認をお願いします。
- 不整合等がある場合は、以下に示す事例の通り、「タイムライン変更記録シート」に、修正する防災行動項目に関する「タイムラインレベル」、「項目No」、「修正後の表現」、「役割の修正」、「タイミングの修正」を記入してください。（提出期限：令和6年1月19日）

＜タイムライン変更記録シートの記入例＞

タイムラインレベル	項目No	表現の修正(修正後)	役割の修正		タイミングの修正	
			変更前	変更後	タイムラインレベル(変更後)	移動場所
例1:表現・役割の修正の場合 レベル3	5	関係機関へ水位情報伝達	○	◎		
例2:タイミングの修正の場合 レベル1	35	水防団の出動			2	No47と48の間

タイムライン変更記録シートの提出先：E-mail okayama.bousai@tk.pacific.co.jp FAX (082) 511-1519

問合せ先：岡山河川事務所 防災情報課 田邊、高原
TEL(086)223-5196 FAX(086)234-2297

(吉井川水害タイムライン検討会) E-mail : yoshiigawa-timeline@cgr.mlit.go.jp

(旭川水害タイムライン検討会) E-mail : asahigawa-timeline@cgr.mlit.go.jp

(高梁川水害タイムライン検討会) E-mail : takahashigawa-timeline@cgr.mlit.go.jp

次回の検討会

- 次回検討会では、今回の検討会で抽出した課題の改善策について議論する。

● 出水期に向けた意思統一

出水期に向けて、タイムラインの概要や運用方法、留意点を確認する。



Plan

タイムライン
作成・確認

● タイムラインの運用

タイムラインの発動やレベル移行の情報を元にタイムラインを運用する。



Do

タイムライン
運用

次回

● 改善

振り返りで出た課題の改善策を議論する。



Action

タイムライン
の改善検討

今回

● 振り返り・教訓の抽出

タイムラインの記録等を持ち寄り、出水対応の教訓や改善点を洗い出す。



Check

出水対応の
振り返り

6. 講評